

2021年度（令和3年度）災害調査報告書

令和4年3月福島県沖を震源とする地震に係る調査報告書

令和5年3月

一般社団法人環境衛生施設維持管理協会
技術部会 施設調査・関連団体グループ

目次

1. 災害の概要
2. アンケート対象施設と集計
3. 調査対象事業所（位置関係）
4. アンケート結果
5. その他・自由記入
6. 集計後記

災害の概要

地震は、2022年3月16日23時36分に、福島県沖で発生したマグニチュード7.4の地震である。宮城県と福島県で震度6強の揺れを観測し、地震災害もこの2県に集中した。この地震により、4人が死亡（うち災害関連死が1人）・247人が負傷し、5万棟以上の住家が被害を受けるといふ被害が発生したほか、一時的に約223万戸で停電が発生し断水などのライフライン被害も多大であった。

道路や鉄道など交通への影響も大きく、新潟県中越地震による上越新幹線脱線事故以来2例目となる、営業運行中の新幹線の脱線事故（東北新幹線脱線事故）も発生した。全線運転再開に約1か月を要した。



アンケート対象施設と集計

本調査報告は、「福島県沖を震源とする地震」に被災され、会員会社が維持管理を受託している事業所を対象（直営の施設は含まない）とした。

該当は2事業所となった。

また、上記条件以外の事業所からアンケートでコメントを寄せられたので、「今回の災害で生かされた3.11の教訓」も含め「その他・自由記入」に纏めた。

調査対象事業所 (位置関係)



アンケート結果

アンケート内容		施設	No.1	No.2
施設概要	自治体		東京都	福島県
	機種		焼却炉（灰溶融炉含む）	焼却炉（灰溶融炉含む）
建物被害の状況			無	壁損傷、基礎ひび割れ等多数
損傷設備及び機器名			蒸気タービン発電機	機器配管等多数
設備停止から再立上げ			運転継続	1か月
搬入経路被害の状況			無	有
施設周りのライフライン被害の状況			停電発生・復旧不明（3月17日 2:52までに都内全域が復旧	停電3時間
安否確認方法			—	電話・メール
会社からの支援			—	有

自由記入・その他(都道府県)

- 地震が多い地区なので、これからも訓練を定期的に行い、安全に留意します。（福島県）
- 設備などに問題はなかったが、今後、計画運休（交通機関）があれば工場内で宿泊できる人数に限りがあるために客先に仮眠できる場所を提供してもらう必要がある。工場側には検討事項として挙がっています。（東京都）
- 通常運転時に、災害時の訓練等を定期的に実施出来れば実際の災害時にも慌てずに対応できるようになるかと。（大阪府）
- 水害により敷地内に浸水した場合、炉・T/Gを緊急停止する基準を客先と協議して決めた。（埼玉県）

集計後記

今回の大規模地震では、予想以上に直接被災した施設は少なかった。

3.11から10年以上を経過し、大規模地震への対応は徹底されている。

ただ、今後も地震災害は発生する事が考える事から、対策を推進し、重要な社会インフラである環境衛生施設のBCP構築に貢献したい。